

手のひらの自然 蕪村と若冲 京菓子展 2016

近世画壇を代表する与謝蕪村、伊藤若冲が誕生して300年。同じ時代に学問所「弘道館」を開いた儒者・皆川淇園は、この二人とそれぞれに交歓があったことが知られています。また、この三人が活躍した時代は、京菓子の成立時期とも重なっています。蕪村と若冲という、二人の芸術家からヒントを得て、そのエッセンスを取り込んだ新しい京菓子作品を、江戸時代の学問所址で体感してみませんか。



会期

2016年10月22日(土)～11月6日(日) ※期間中は休まず開館

本会場

有斐齋 弘道館 (京都市上京区
上長者町通新町東入)

時間：午前10時～午後5時

入館料：500円

呈茶：1,000円 ※選ばれた京菓子作品と抹茶をお召し上がりいただけます

特別会場

世界遺産 二条城 (京都市中京区
二条通堀川西入)

時間：午前9時～午後4時

(二条城の開城時間は午前8時45分～午後4時 ※閉城は午後5時)

料金：無料 (ただし、二条城への入城料が別途必要
※一般600円 中・高校生350円 小学生200円)

呈茶：料金未定

問合せ先

075-441-6662 (有斐齋 弘道館)

主催：公益財団法人 有斐齋弘道館 共催：京都市 後援：京都府



手のひらの自然 蕪村と若冲 京菓子展 2016



朝倉良江『光琳梅』

2015年京菓子デザイン部門大賞作品

福島幸治『角彩』

2015年茶席菓子実作部門大賞作品

京菓子の新しい世界を 体感してみませんか？

「京菓子」は、朝廷文化である有職や茶道文化の上に成立する世界でも稀にみる芸術的な食べ物です。日本の伝統文化を表す重要なエッセンスがすべて、「匠の技」の結晶である〈50グラムの立体造形〉に込められています。本展覧会は、京都を代表する芸術文化である京菓子を通して江戸時代の絵画や俳諧などの芸術について知っていただくとともに、京菓子についての理解を深めてもらおうとするものです。今回は、「蕪村と若冲」をテーマに幅広く公募した作品の中から選りすぐりの作品を展示いたします。新たな京菓子が誕生する、その瞬間を体感できる、他では味わえない「場」となることでしょう。

京菓子職人による 展示作品の解説も

■「蕪村と若冲」をテーマに約30点の京菓子作品を展示いたします。呈茶のために選ばれた作品を、抹茶と共に召し上がっていただけます。(数量限定)

■期間中、京菓子職人が展示作品のご説明をいたします。
(毎日午後1時30分
～午後3時30分、
本会場のみ、予約
不要)



有斐齋 弘道館 ゆうひさいこうどうかん

「弘道館」は江戸中期を代表する儒者・皆川淇園(みながわきえん)が1806年に創立した学問所で、その門弟は3,000人とも言われます。この弘道館址地を現代の学問所として復興しようと文化・企業人が立ち上がり設立したのが公益財団法人有斐齋弘道館です。文化的遺産の保存維持、京菓子や茶道などの日本文化・芸術に込められた知恵や美への精神を学び、また分野を問わず多彩な人々が集まる学問・文化サロンの役割を担っています。



〒602-8006
京都市上京区上長者町通
新町東入ル元土御門町
524-1

TEL/FAX:
075-441-6662

E-mail:
info@kodo-kan.com

アクセス

- 烏丸通から上長者町通(KBS京都の北東角)を西に入り、一筋目を越えて北側
- 京都ブライトンホテルからホテル正面から南へ、一筋目を東に入る、北側
- 地下鉄「丸太町」駅または「今出川」駅から徒歩8分
- 京都駅からタクシーで15分

